【3文抜き書き】

①ところが、その涙が流れて流れてとまらないのでありました。

②自分は今まで、人から冷たい眼ばかりで見られてきました。

③ところが、この草鞋をはいた子どもは、盗人であるじぶんに牛の仔をあずけてくれました。

④こんなことは、盗人のじぶんには、はじめてのことです。

⑤かしの眼から涙が流れてとまらないのはそういうわけなのでした。

【1段落目】

・私が1番すごいなと思ったところは、仔牛と子どもがかしの心を美しくにしたことです。

・理由は、子どもと仔牛に美しい心にする事ができるとは思わなかったからです。

・もしかしたら、子どものほうが、大人に親しみやすく声をかけることができ、ひねくれた心を美しい心にするのかなと思った

【2段落目】

・

【3段落目】